

やっほー

やまびこネットワーク情報誌 VOL.60

発行日 平成22年3月29日

編集 地域づくりネットワーク長野県協議会

事務局(長野県総務部市町村課地域振興係内)

電話 026-232-0111(内線 2132)

FAX 026-232-2557

E-Mail s-shinko@pref.nagano.lg.jp

URL <http://zuku.umic.hp/ynet/>

〈平成22年度事業の方向性について〉

平成21年度第2回幹事会が開催され、平成22年度からは、「ブロック活動」を廃止し、「支部活動」及び「全体会（やまびこフォーラム）」を充実させることで決定いたしました。

「やまびこネットワーク」とは、地域づくり活動を実践している団体が、壁にぶつかったり困ったりした時に誰かが助けてくれる「やまびこ」のように返事が返ってくるようなネットワークをつくることを趣旨として設立されました。

支部は、同じ地域で様々な活動をしている団体が集まる場です。地域の中でも活動のジャンルが異なればなかなか交流する機会がないのが現状だと思います。そんな時、お互いの苦労や思いなどを共有し、助け合えるような仲間ができるホームベースのような場になればと思います。

全体会は、長野県内各地域で活躍する団体が、1年に一度顔を合わせる絶好の機会です。色々な団体との情報交換をきっかけに、活動へのヒントを探してみたいでしょうか。

インターネットも積極的に活用してください。前回のやっほーでもホームページと各支部のページについて紹介しましたが、情報発信や情報収集に役立ちますので、活用しない手はないと思います。

この協議会に入って良かったと思えるような、お手伝いできれば幸いです。これからもよろしくお願ひします。

地域づくり全国交流会議原村大会 に出席しました！

平成21年10月17日～18日に行われた、地域づくり全国交流会議原村大会に出席しました。この地域づくり全国交流会議は毎年実施され、国土交通省が主催する「地域づくり表彰」の表彰式とその受賞団体の活動発表、開催地域で活躍する団体の活動発表や現地視察が実施されました。原村のみなさんの暖かいもてなしや事務局の適切な運営もあり、内容の濃い大会となりました。

受賞団体の事例発表

○国土交通大臣賞：NPO法人まちおこし佐原の大祭振興協会(千葉県香取市)

○地域づくり全国交流会議会長賞：NPO法人みなとしばがま(宮城県塩竈市)、四万十町十和おかみさん市(高知県四万十町)、五ヶ村村おこしグループ(宮崎県高千穂町)

○日本政策投資銀行特別賞：美濃和紙あかりアート展実行委員会(岐阜県美濃市)

それぞれの事例発表があり、舟運の復活や佐原囃子の伝承、ボランティアガイドの育成、地元農産物を通じた都市と農村の交流、温泉茶屋・神楽の館といった観



光拠点の整備、ボランティアが中心となり街全体でのイベント運営など、受賞に値する素晴らしい取り組みばかりでした。

昼食時には開催地原村のはらこども教室「わ・WA・O」の皆さんによる「はらむらのいいとこさがし」がありました。一人一人が探した「いいところ」の発表、原村まめ知識クイズ、「星の降る里」の合唱が行われ、会場はとても暖かい空気に包まれました。



基調講演

「観光カリスマ」としてスイスのツェルマット在住ながら日本全国を飛び回り、(平成20年は170回を超えるフライト、200日以上の外泊をしたそうです!)世界トップクラスの観光サービスやノウハウを広める活動をしている山田桂一郎氏(JTIC、SWISS代表)による基調講演が行われました。首相官邸の勉強会の講師も務めるなど、まさに世界トップレベルの観光ノウハウを伝える第一人者です。

メモも追いつかないぐらいの密度でしたので、読みづらいかもかもしれませんが、非常に重要なこと(耳に痛いこと?)をおっしゃっていましたので、少し長くなりますが、キーワードと箇条書きで紹介します。



- ・「物見遊山」ではお金は落ちない
→「ツーリズム」で全ての産業を巻き込んだ商売に
・リピーターを増やすには一度来た人を「大満足」させなければいけない、「満足」では戻ってこない
長野県の観光満足度調査では「満足」が40%
「大満足」は2.8%…3%以下!

異日常(日常と異なる)の生活文化体験こそが重要
他地域のライフスタイル、生活文化の豊かさを感じること

- ・地域的リアリティが必要(伝統、正統性…)
観光客にメッセージが届かない
地元民が支持しないものにリアリティは宿らない

観光＝「非日常」「異日常」の2つの空間を提供する商品

訪れてよし、住んでよし **観光振興はまず地域振興から**

- ・お客様を獲得するために競争はするが、お互い「ベストを尽くす」競争がないところに質の向上はないという良いライバル関係
- ・地域づくりのキーワードは **自立** と **持続可能**
地域振興＝**商売を継続し、納税し続ける**
そのことが自立と持続可能性につながる

ツェルマットでは5,700人の村民が億単位で村に税金を納めている

- ・地域づくりで最も陥りがちなのが、自分達の地域のゴールをわかっていないこと

「目標」はあれども、「ゴール」設定がない
⇒地域づくりの「手段」が自己目的化してしまう

生きがい? 自分の都合でやっていて、お客さんや住民のためになっていないのではないかと

- ・地域を大切にすること＝お客さんを大切にすること
おもてなし＝しつらえ、よそおい、ふるまい →リピーター、その地域大好き人間の増加

「住民参加」から「行政参加」へ

住民が主体でそこに行政が参加・支援するのが理想

NATO 廃絶＝No Action Talk Only(言うだけで行動しない)を廃絶!

「知識」は「行動」しなければ価値はない

「行動しなければ価値はない」という言葉で締められたのが印象的で、自分は何ができているのだろうか、何もできていないのではないかと自問自答と反省をしながら、講演を聴いていました。

地元地域づくり団体の事例発表・ディスカッション

- ・御射里の会(富士見町)
遊休荒廃農地の再生プロジェクト(マウンテンバイクコース、ピオトープ、ヒツジの放牧場の整備による緩衝地帯づくり)
- ・蓼科高原集客拡大会議(茅野市)
諏訪東京理科大学との連携による「脳トレツアー」の実施(市民の協力によるデータ収集、新たな付加価値の創造)
- ・NPO法人ハヶ岳ヒューマンエナジー(原村)
再生エネルギーの活用の取り組み(天ぷら油の再生、ソーラーパネルの設置)
- ・NPO法人匠の町しもすわあきないプロジェクト(下諏訪町)
「下諏訪町はってん100人委員会」によるゆるやかなネットワークづくり、空き店舗の再生。
その後意見交換会が行われ、講師、受賞団体、地元団体、審査委員の皆さんによる活発な議論が行われました。



現地視察

二日目の現地研修には残念ながら参加できませんでしたが、全国には素晴らしい取り組みをしている団体があること、また地元地域づくり活動団体の取り組みも表彰受賞団体の活動に負けない内容だと感じました。

表彰団体の概要や地元地域づくり団体の概要などについては、国土交通省のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/crd/crd_chisei_tk_000023.html

最後に、写真をご提供いただいた原村の事務局に感謝申し上げます。(自分も撮ったのですが誤って消してしまいましたToT)

<事務局 相田>



地域づくりフォーラム 中信ブロック大会を開催しました。

地域づくりネットワーク中信ブロック（木曽・松本・大北支部）の地域づくりに関わる方々の相互の交流を深めるとともに、より身近な地域づくり活動を知る機会を提供するため、「地域づくりフォーラム中信ブロック大会」を開催しました。

- 日時：平成21年10月25日（日） 午前10時30分から
- 場所：国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）



国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）視察

平成21年7月にオープンしたばかりの「国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）」を、公園職員の方にご案内いただきながら視察しました。

最高で地上高9mの「空中回廊」や、建物全体が遊具のような「大草原の家」など、公園内の様々な施設を巡りながら、澄んだ空気と森の豊かさを満喫しました。



国営アルプスあづみの公園ホームページ

http://www.azumino.go.jp/oomachi_matsukawa/index.php

■ 「地域発 元気づくり支援金」活用団体 事例発表

3年目となった「地域発 元気づくり支援金」事業は、中信ブロック各地域でも特徴ある事業が実施されています。

今回は、次の3団体の皆様に各事業内容を発表していただきました。

分野を越えた取り組みを参考にさせていただくとともに、団体相互の交流を深めました。

○ 発表団体・事業名

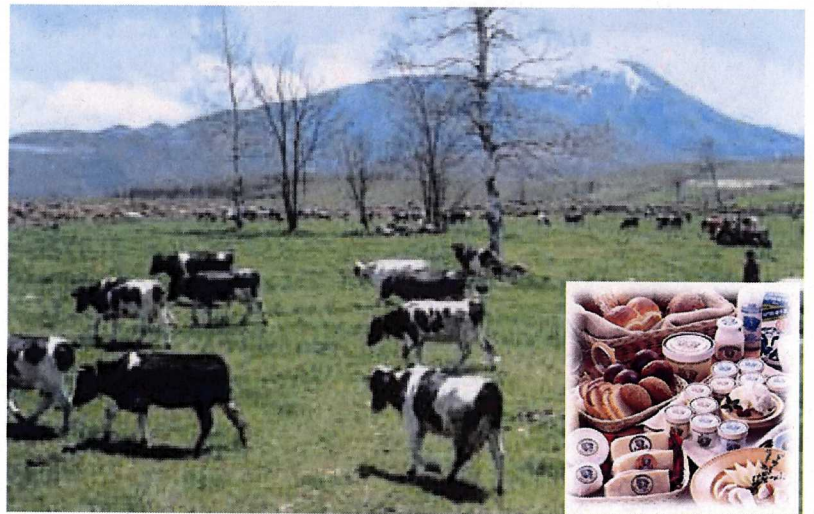
- ・ 須原宿景観形成住民協定運営委員会（大桑村）
「水舟の里づくり事業」
- ・ 生坂村農業公社（生坂村）
「本気で農家目指す人支援します事業パート3」
- ・ 大町市観光協会（大町市）
「北アルプスあづみのツアープランニングコンテスト事業」



※△※▽※△※▽※△※▽※△※▽※△※▽※△※▽※△※▽※△

事務局の竜野です。

私事ですが、この3月で県への交流期間が終わり、地元「長和町」へ帰ります。1年間地域づくりネットワーク長野県協議会の事務局として地域の団体の方と関わり、私なりに地域の活性化について考えることができました。地域づくりの難しさ、多くの方の理解と協力の必要性。過疎化、高齢化が進む現在、地域おこしには皆さんのような、地域づくり団体が先頭に立ち、リーダー的存在になっていることを心強く感じた1年です。短い間でしたがありがとうございました。



せっかくですので、「長和町」を紹介させていただきます。長和町は長野県のほぼ中央、小県郡の南部に位置し、東には佐久市、西は美ヶ原があり松本市と接し、南は霧ヶ峰高原を境に茅野市、諏訪市と接し、北は上田市と接しています。蓼科山を望む「長門牧場」ここのアイス、ピザなどは絶品です。美ヶ原高原、霧ヶ峰高原は、春から夏にかけて色とりどりの花に囲まれ、見る人を癒してくれます。自然豊かな長和町へ皆さんぜひお越しください。

